

秋も、もちろん「衣替え」なし

1年の折り返しである10月を迎え、季節も秋めいてきました。特に明け方の気温に肌寒さを感じる事が多くなりました。例年であれば、夏服から冬服への衣替えがこの10月上旬に行われますが、大形中では5月に示した衣替え廃止の考えに基づき、秋についても「期日を定めた衣替え」は実施しません。当然のこととして、この体制を継続します。

衣替えの廃止は、これをもって完結するものではありません。生徒一人一人が自主性・主体性をもち、自律的に学習・生活できることを目指すための方策の一つにすぎません。また、自主性・主体性や自律とともに、生徒に身に付けてもらいたい「自治」にもつながるものです。

これらの力を生徒が身に付けるために、不必要な縛りは極力排除して、生徒自身による判断、すなわち「自己決定」を大切に、生徒の手による学校づくりを進めていきたいと考えています。



服装は「自分」が決める！
生徒自身が決めるべきことは
生徒を信じ、生徒に預けます！

大形中学校 校長室だより
夢・希望・未来

令和3年10月4日
第14号

「学校生活の心得」にある「中学生らしさ」って、なに？

生徒が自律して、自治的に学校生活を過ごすためのよりどころの一つが、生徒全員が持っている生徒手帳に記載された「学校生活の心得」です。一般的には校則と呼ばれ、最近では「ブラック校則」などと、その内容に問題を指摘されるものもあり、校則の見直しに取り組んでいる学校も見られます。

さて、生徒の皆さんは、生徒手帳にある「学校生活の心得」を丁寧に読んだことがあるでしょうか。そして、心得に書かれている内容を熟知し、納得しているでしょうか。

大形中の「学校生活の心得」には、次のような記載があります。

【大形中 学校生活の心得】

- ・ 頭髮 …………… 中学生らしく、常に清潔でさっぱりしたヘアスタイルにする。
- ・ 外出時の服装 … 清楚な（中学生らしい）服装で、大形中学生の品位を保とう。

大形中に赴任した4月にこの心得を読んだとき、この2文にある「中学生らしく」「中学生らしい」という言葉に対して引っかかるものがありました。

「中学生らしさ」ってなんだろう？まぎれもなく中学生である大中生に求める「中学生らしさ」って、いったいなんだろう？「～らしさ」って、誰が決めるんだろう？… はたして、大中生は教師や親の求める「中学生らしさ」を何の抵抗感もなく受け入れているのでしょうか。

他にもいろいろと思うところはあったのですが、一番不思議なのは、421人もいる大中生の中から、自分たちの心得に対する「声」がほとんど聞こえてこないことです。変える、変えないは別として、学校生活の主体者である生徒が、心得に関心を寄せている様子があまり伝わってこないことは、やや残念で物足りなさを感じます。

9月に行われた大空祭で、あれだけ自主性・主体性をもち、仲間と協働する力を発揮した大中生です。それだけに、日常生活においても、現状に満足したり安住したりせずに、高みを目指して挑戦してもらいたいと思っています。

心得は一つの例として、大中生が自分たちの学校生活を改善・向上させるために、今後どのようにアクションを起こすのか、楽しみにしています。よりよい学校づくりに向けて生徒の中から声が上がリ、それが大きなうねりとなって具体的なアクションにつながるものと信じて、その時を待ちたいと思います。

「中学生らしさ」って、
どういうこと？



肌寒くても、しっかり換気！



10月1日(金)の校舎の様子です。小雨交じりであったにもかかわらず、どの教室も感染症対策としての窓開けがしっかりとされており、生徒の意識の高さを感じました。